

『楯ヶ崎 遠見番所跡と遊木の狼煙場』

～熊野の海防の史跡を巡る～

江戸時代の頃、熊野灘は表日本の重要な航路で、紀州藩領の海岸線はきわめて長く広範囲に及ぶため、紀州藩は早くから海防に力を注いでいました。幕府は諸外国に目を光らせ、全国各地に「遠見番所」を設け船見番を置き、異国船の監視をしました。

ここ熊野市にも一ヶ所、遠見番所が楯ヶ崎にあります。近辺では串本町の潮岬、太地町、尾鷲市九木崎に置かれた歴史があります。また、遠見番所から連絡を受けた狼煙場では狼煙をあげて近隣の浦村に連絡する定めになっていました。



御番所跡からは南に太地町の岬が遠望できます



遊木の狼煙場跡に残る3基の石積み

今回はまず、楯ヶ崎遠見番所跡を見学します。明治2年に遠見番所、狼煙場はともに廃止され、ほとんどが取り壊されてしまいましたが、御番所跡には今も屋敷跡の何段かの石垣と畑跡の広い平地が残っています。

次に遊木町の人々が大切にしている狼煙場跡を見学します。転石を饅頭型に積み上げられたものが3基直線状に並んで現存しており、今では全国的にも珍しくとても貴重な史跡となっています。

ご案内は何よりも郷土を愛し、「歴史的に貴重な狼煙場跡が遊木町に残っている事を知って欲しい。」と語る遊木狼煙場保存会会長の浜口安徳さんをお願いします。



浜口 安徳さん

かつての遠見番は毎日どんな思いで、海を見つめていたのでしょうか。熊野の海防の歴史にふれながらそれぞれの史跡から熊野の海を一望してみましよう。ご参加をお待ちしております。



江戸時代の地図に遠見番書と狼煙場が記されています。
(熊野市歴史民族資料館所蔵)

実施要領

■実施日

5月4日（月・祝）

雨天の場合は翌週5月11日（月）に延期します（5月11日のみ）

■集合

楯ヶ崎トイレの駐車場（三重県熊野市甫母町 国道311号沿い）

■行程

9：00 楯ヶ崎トイレの駐車場でオリエンテーション

9：15 熊野市須野町 遠見番所跡登り口へ車で移動

9：30 遠見番所跡（海拔264m）へ到着、登り開始

10：10 遠見番所跡到着、現地見学

10：40 下山開始

11：10 登り口到着、遊木町へ車で移動

11：30 遊木町到着、狼煙場（海拔210m）へ徒歩開始

12：30 狼煙場跡へ到着、現地見学後昼食

13：10 丹羽の平（海拔331m）へ移動

13：40 丹羽の平到着、現地見学

14：00 下山開始

14：40 遊木町へ到着、ミーティング

15：00 解散

（歩く速度などにより、多少時間が前後することがあります。）

■募集人数

10名様

（お申し込み多数の場合は、4月26日（日）に抽選で決めさせていただきます。

お二人以上で一緒に参加ご希望の場合は、グループで一人として抽選します。）

■お申し込み締切り

4月25日（土）必着

■参加費

2,000円

【ガイド料、国内旅行保険・賠償保険・実施経費の一部（現地調査費、通信費）】

■持ち物、準備

昼食、飲み物、軽登山靴またはスニーカー、帽子、軍手（手袋）、カメラ、双眼鏡や雨具など各自必要なものをご準備してください。

■天候

雨天の場合は5月11日（月）に延期します（5月11日のみ）

催行・中止の決定は前日に行います。

■ガイド

浜口安徳 氏（三重県熊野市遊木町）

■ご注意

楯ヶ崎遠見番所跡への山道は急な登りが続きます。かなり荒れて崩れた箇所もあり、とても滑りやすくなっています。特に下山の際はご注意ください。環境を守るためにもゴミは必ずお持ち帰りください。また植物の採取も差し控えましょう。

この企画は会員制の「熊野を楽しむ達人の会」規約に基づき、参加者が自己責任において任意で参加していただくものです。ガイドが安全確保しながら指導いたしますが、万一の事故には加入していただく国内旅行保険の範囲内で対処することにご同意の上、お申し込みください。

◇お申し込み方法

この講座は「熊野を楽しむ達人の会」の会員のためのプログラムです。

【会員の方】注意事項などをご確認の上、事務局まで郵便、ファックスまたはメールで参加をお申し込みください。お電話でのお申し込みはご遠慮ください。

【会員でない方】「熊野を楽しむ達人の会」の会員登録が必要です。詳しくは事務局までお問い合わせください。